

平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書 (大阪市住之江区)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- ・キャラバンメイト連絡会と連携し区内で開かれる認知症サポーター養成講座に参加。
- ・チーム員医師による「認知症を理解する会」を各地域で開催。

30 年度は認知症ネットワーク連絡会と協同で開催している。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

ケアパスを作成中。

初回発行分は、推進員で役所や社協、包括などから意見を聞きながら作成。実際に活用し住民や専門職などからの意見をまとめながら、住之江区独自のケアパスを作成していきたいと思っている。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

- ・支援する専門職向けにリーフレットを作成中。
- ・若年で認知症があること、相談窓口があることなど、認知症サポーター養成講座の際に紹介している。
- ・地下鉄の駅にポスターを掲示、チラシの設置依頼。二つの駅で可能となった。

IV 認知症の人の介護者への支援

- ・「認知症を理解する会」で本人や家族同士で話がしたいという意見が多かったため、認知症カフェで日にちを決めて集まっていただく機会を作る予定。区内の認知症カフェで順次行う予定。
- ・認知症カフェの周知ができていないことから、区内のお祭りやイベントなどでブースを出し、啓発活動を行っていく。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

地域の喫茶や食事会などに参加。住民の声を聴きながら課題を探っている。課題と思ったことは包括や社協へ伝え解決に向けて協議していきたいと思っている。

VI 会議や研修等の実施及び参画

- ・「認知症を理解する会」を月 1 回開催している。
- 認知症ネットワーク連絡会へ参加。住民向けや多職種研修などの開催に向けて一緒に検討している。